

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

開閉会日時	令和6年10月2日 水曜日	開会 10:00	閉会 14:18	会議場所	別海町議会 議場						
議員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	7 番	横田 保江	出席	13 番	中村 忠士	出席		
	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席	14 番	佐藤 初雄	出席		
	3 番	高橋真結美	出席	9 番	小椋 哲也	出席	15 番	戸田 憲悦	出席		
	4 番	伊勢 徹	出席	10 番	外山 浩司	出席	16 番	西原 浩	出席		
	5 番	貞宗 拓雄	出席	11 番	今西 和雄	出席					
	6 番	宮越 正人	出席	12 番	松原 政勝	出席					
出席説明員	町長		副町長		教育長		代表監査委員				
	曾根 興三		出席	浦山 吉人		出席	相澤 要		出席	竹中 仁	欠席
	選挙管理委員長		農業委員会会長								
	永田 雅夫		欠席	信夫 重勝		欠席					
	総務部長		福祉部長		産業振興部長		保健生活部長				
	伊藤 輝幸		出席	干場 みゆき		出席	佐々木 栄典		出席	小川 信明	出席
	建設水道部長		教育部長		病院事務長		会計管理者				
	外石 昭博		出席	宮本 栄一		出席	三戸 俊人		出席	入倉 伸顕	出席
	農業委員会事務局長		監査委員事務局長		総務部次長兼総務課長		保健生活部次長兼町民課長				
	川畑 智明		出席	竹中 利哉		出席	寺尾 真太郎		出席	谷村 将志	出席
保健生活部次長兼保健課長		産業振興部次長兼水産みどり課長		建設水道部次長兼管理課長		建設水道部次長兼上下水道課長					
千葉 宏		出席	小野 武史		出席	田畑 直樹		出席	新堀 光行	出席	
生涯学習センター長兼中央公民館長											
福原 義人		出席									
情報広報課長		総合政策課長		財政課長		税務課長					
山田 哲哉		出席	松本 博史		出席	角川 具哉		出席	松田 勝広	出席	
防災・基地対策課長		西春別支所長兼西公民館長		尾岱沼支所長兼東公民館長		福祉課長					
岩口 裕昭		出席	小村 茂		出席	大坂 恒夫		出席	石戸谷 友絵	出席	
介護支援課長		老人保健施設事務長		生活環境課長		農政課長					
高橋 勇樹		出席	渡辺 久利		出席	上田 健一		出席	皆川 学	出席	
商工観光課長		建築住宅課長		事業課長		上下水道課技術長					
掘込 美穂		欠席	廣島 静治		出席	佐竹 和仁		出席	袴田 充輝	欠席	
病院事務課長		学務・スポーツ課長		学校教育課長兼給食センター長		指導参事					
椋木 直人		出席	斎藤 陽		出席	池田 卓也		出席	瀬川 航平	欠席	

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

課長職 ほか	生涯学習課長		図書館長ほか		総合政策課主幹		防災・基地対策課主幹	
	木戸口 誠	出席	堺 啓	出席	佐藤 貴也	出席	寺澤 淳司	出席
	商工観光課主幹		水産みどり課技術主幹		福祉課主幹		介護支援課主幹	
	上杉 大洋	出席	古里 達也	出席	澤田 憲一	出席	松本 静香	出席
	管理課主幹		建築住宅課主幹		事業課主幹		学務・スポーツ課主幹	
	入田 浩明	出席	篠田 敬介	出席	前道 陽司	出席	立澤 雅彦	出席
	学務・スポーツ課主幹		学校給食センター主幹		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹	
	高津 寛人	出席	平下 奈津子	出席	石渡 一人	出席	戸田 博史	出席
	財政課主査		農政課主査		商工観光課主査		水産みどり課主査	
	高橋 克彦	出席	西郷 博之	出席	松本 芳樹	出席	岩光 信幸	出席
管理課主査		生活環境課主任						
大滝 毅	出席	大槻 憲史	出席					
事務局職員	事務局長	干場 富夫	事務局主幹	木幡 友哉	合計	2名		
傍聴者数	一般	0名	議会モニター	0名	議会サポーター	0名		
	報道関係者	0名			合計	0名		

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 8番 田村	10:00 開会 開会挨拶 出席委員16名、欠席委員0名、会期2日 町長挨拶
町長 曾根 興三	<p>・令和5年度の決算は、例年に類のない330億円を超えるという執行額となった。これは、ふるさと納税が伸びたということもあるが、海外の情勢によって石油の高騰により物価が高騰していたことで、各種町民の方々には負担が大変増え、それに対して町としてどういう支援をしていくかという、例年にない特別な施策を行ったところ。</p> <p>特に農業は、事業の低迷で、生産抑制をされていたことから、特別な対策が必要な年でもあった。</p> <p>また、水産業においても、秋サケの漁獲量が減っていたということで、次の4年後の資源を確保するためにも、増強の運営に対してはしっかりと支援をして、通常の業務を実行してほしいということで、水産業に対しても、例年にない特別な支援をしていたところ。</p> <p>そのほか、別海高等学校が甲子園に出たことに、他の町にない支援をした結果、町民一丸となれて、本当に楽しい姿を見せていただいた。</p> <p>今後も、引き続き別海高等学校の活動を支援していかなければならないという思いでいる。</p> <p>先ほど申し上げたふるさと納税については、139億円を超え、大変ありがたい財源となっはいるが、あくまでも臨時的な収入であるという考え方で運営をしているので、今後、行政内部の事務及び経費等の効率化をしっかりと図り、無駄な経費を減らしていくこと、そして、長期的な財政の目標を立てて、そのために積立てをしていきたい。</p> <p>また、使用目的は指定されているので、その目的に沿った形の中で、長期的にどう運営し、町の経済を潤していくかをしっかりと踏まえて執行していきたいと考えている。</p>
委員長 8番 田村	10:05 暫時休憩 (町長退出)
委員長 8番 田村	10:06 再開
委員長 8番 田村	令和5年度別海町一般会計決算審査 歳入 区分項ごとに進める。
	15ページ款14項1 使用料 事前質問答弁表 質疑No.1 （細節）ふるさと交流館使用料 22,189,800円
委員 13番 中村	・再質問なし。
委員長 8番 田村	15ページ款14項1 使用料 事前質問答弁表 質疑No.2 （細節）郷土資料館使用料 124,810円
委員 13番 中村	・再質問なし。
委員長 8番 田村	17ページ款14項1 財産売払収入 事前質問答弁表 質疑No.3 （細節）資源物売払収入 13,553,476円
委員 13番 中村	①令和4年度のリサイクル率が令和3年度の32.3%から33.3%に上がり、7次総合計画の令和5年度目標の34%に近づく勢いがあったが、令和5年度は31.8%に下

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p>がった。リサイクル率を上げるために大変な苦勞をされていることと思うが、上昇傾向にあったリサイクル率が令和5年度、急に下がった理由についてどう分析しているか。</p>
生活環境課長	上田	<p>①令和5年度は、新聞や雑誌などの紙資源が大きく減少したことにより、資源物の総量が減り、リサイクル率が下がったものと考えている。</p> <p>紙資源については、特に新聞や雑誌がインターネットの普及により年々減少してしたが、令和5年度は、特にその減少が大きくなった。</p>
委員	13番 中村	<p>①紙資源の量が減ったというのは分かるが、リサイクル率が下がるということの分析はどうなっているか。</p>
生活環境課長	上田	<p>①リサイクル率はごみ全体に対する資源物の割合になるので、燃えるごみの量も減っているが、紙資源物が大きく減ったことにより、バランスが変わって下がっている。</p>
委員長	8番 田村	<p>29ページ款18項1 寄附金</p> <p style="color: blue;">(細節) ふるさと応援寄附金 13,902,590,779円</p>
委員	13番 中村	<p>①監査委員の決算審査委員意見書には、将来的に継続が確約される財源ではないことを認識し、的確に執行されたいとあるが、ふるさと応援寄附金の財政的位置付けに関する基本的な考え方をお聞かせ願いたい。</p>
財政課長	角川	<p>①町長の冒頭の挨拶でもあったとおり、監査委員からの意見書と同様に、町においては、将来的に継続が確約されるもの、恒常的なものとは考えていない。</p> <p>しかし、一般会計の収入において41.6%を占める状況となっており、その寄附金によって積立てられるふるさと応援基金は、事業実施に際して貴重な財源となっている。</p> <p>このことから、寄附金収入は、本町にとって非常に重要な収入になっていると考える。</p>
委員	13番 中村	<p>①恒常的なものではないと言われていることを踏まえて、基本的スタンスを決めなければいけないと思う。令和5年度のこの決算状況の中で考えなければいけないと私は思うことから、そういう意味での基本的スタンスを聞いているが、いかがか。</p>
副町長	浦山	<p>①ふるさと納税が歳入の中で次第に大きな要素になってきているが、ふるさと納税の制度というものが、未来永劫を約束されているものではないということは、スタート時からの前提として十分認識しているので、将来に向けての貴重な財源という意味合いも含めて、当初から、目的基金をつくり、その目的に沿って振り分けをした中で、現在そして将来において、その目的に沿って使っていくという意識のもとに運用している。</p> <p>計画的に蓄え、計画的に執行するといった基金管理をしているところ。</p> <p>この管理の在り方というのが、何より町のふるさと納税に関する基本的スタンスだというふうに考えている。</p>
委員長	8番 田村	<p>34ページ款21項5 雑入</p> <p>事前質問答弁表 質疑No.4</p> <p style="color: blue;">(細節) 国営太陽光施設売電収入 52,072,463円</p>
委員	13番 中村	<p>①発電量、売電収入が当初予算より10～15%少なかったのは、出力制御対応機器が未設置となっていた20施設について、当初想定した発電停止期間より多くの期間停止することになったという説明だと受け取ったが、それでいいか。</p> <p>②当初想定した停止期間は3か月だったが、実際は6か月停止したという理解でいいか。</p> <p>③想定外の停止を北電から求められたのはいつか。</p> <p>④北電の求めに対して町当局はどのような対応をしたか。</p>
農政課長	皆川	<p>①そのとおり。</p> <p>②そのとおり。</p>

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p>③北海道電力ネットワーク株式会社から、令和5年1月31日までに誓約を交すよう求められており、実際誓約を交わしたのが、1月18日付、4月1日から10月31日までの7か月間、発電を停止する誓約を交わしたところ。</p> <p>④北海道電力ネットワーク株式会社との誓約では、7か月間の停止を求められていたので、令和4年は3か月の発電停止期間だったところ、令和5年度はなぜ、7か月間の停止をしなければならないのかと確認したところ、令和4年度の停止期間外にも出力制御を行った実績があることを受け、全道一律で7か月間の期間を設定しており、公平性の観点から本町だけを特別扱いできないという回答を受けたところ。</p> <p>なお、機器設置工事の完了に伴い予定より早い9月13日に売電を再開した。</p>
委員	13番 中村	①令和5年度の予算を立てる前に求められたと思うが、予算に反映されていない理由は。
農政課長	皆川	①求められたのは1月で、減収になるということは想定されていたところだが、歳出と併せて全て見直す必要があったことから、当初予算の編成に間に合わせる事ができなかったというのが実情であり、やむなく当初見込んだ売電収入で予算を計上し、発電量を注視しながら運用することとした。
委員長	8番 田村	歳入全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	歳入終了。
委員長	8番 田村	10:34 暫時休憩
委員長	8番 田村	10:35 再開
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員長	8番 田村	議会費及び総務費の審査
委員長	8番 田村	51ページ款2項1 企画費
		事前質問答弁表 質疑No.5
		人生100年・年金経済域内循環調査研究事業 18,480,000円
委員	2番 吉田	・再質問なし。
委員長	8番 田村	51ページ款2項1 企画費
		事前質問答弁表 質疑No.6
		人生100年・年金経済域内循環調査研究事業 18,480,000円
委員	13番 中村	①アプリケーションソフトの開発そのものは完成したのか。一般の人でも使用できるのかを含め進捗状況を教えてほしい。
総合政策課長	松本	①本事業の目的が、健康寿命を延ばすということから、ウオーキングによってデジタルポイントを付与しようということであり、そのサービスの範囲では、アプリケーションソフトの開発は終わっているが、そのほかの用途へのデジタルポイントの活用については整備されていないことから、現状はこの事業の趣旨に沿った範囲での活用について、ソフトは開発が終わっている。
		一般の方のウオーキングについては、来年度から実施できるように、これから事業を策定するところだが、今年度も調査研究事業は続いており、今年度は、そのポイントを使う飲食店への説明などを行っているところ。
		また、デジタルポイントの有効な活用に必要な端末の整備なども順調に進めているところ。
委員	13番 中村	①実際に一般の人が使用できるのは、令和7年度からという理解でよろしいか。
総合政策課長	松本	①令和7年度中に開始したいと計画しているところ。

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.7 シティブロモーション情報発信一元化事業 6,661,600円
委員	2番	吉田	・再質問なし。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.8 シティブロモーション情報発信一元化事業 6,661,600円
委員	13番	中村	①ペルソナ分析とはマーケティング手法の一種と捉えていいか。 ②令和5年度はサイトの構築までが事業実績ということだが、サイトの公開はされているのか。
総合政策課長		松本	①そのとおり。 ②1度サイトはできあがったが、今年度はサブコンテンツの追加などサイトのブラッシュアップをしているところで、今は一時非公開となっている。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.9 別海町ファンによる魅力発信拠点調査研究事業 2,728,000円
委員	2番	吉田	・再質問なし。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.10 別海町ファンによる魅力発信拠点調査研究事業 2,728,000円
委員	13番	中村	①サイトを見たが、素晴らしいものになっていると感じた。サイトを立ち上げるに当たっての動機、ねらいについて説明願いたい。特に、事前答弁に「本来の事業目的は、フォトスポット周辺の環境整備」とあるが、どういうことか教えてほしい。 ②どのくらいの利用者数を目標として設定したか。
総合政策課長		松本	①観光協会などでフォトコンテストなどを実施しており、そういった企画での集客は、民間でこれまでも取り組んでいるところだが、行政としては、どういったスポットにどれだけの人が立ち寄っているかを定量的に計測し、整備計画にある程度の優先順位を付けるためのデータ収集が狙いとなっている。 ②当初延べ1万人の閲覧者を目的としていたが、令和5年度末の公開以降、既に延べ1万人の閲覧者を超えている。 また、並行してInstagramというSNSツールで、「カメラで見つける別海町」という日々別海町の写真を発信するアカウントも立ち上げており、こちらも相当な人数に見ていただいている。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.11 地域おこし協力隊推進事業（プロモーション推進） 528,480円
委員	13番	中村	・再質問なし。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.12 地域おこし協力隊推進事業（ふるさと応援） 575,780円
委員	13番	中村	・再質問なし。
委員長	8番	田村	52ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.13

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p style="color: blue;">地域おこし協力隊推進事業（提案型） 19,657,840円</p> <p>①提案型の協力隊員がそれぞれ担っている役割と重なる役割を担う提案型でない協力隊員がいるように思うが、どうか。</p> <p>②互いの役割に重なり合う部分があるとしたら、その連携はどのように図ってきたか。</p>
委員	13番 中村	
総合政策課長	松本	<p>①我々の整理の中では、雇用型は、町の事務分掌規程に基づいて、我々職員と同様に、所属課に与えられた業務を担い、そして地域力の維持・強化に当たる者、委託型の中で、フリーミッション型は、民間の就業であったり将来の企業を想定して自由に活動したいと希望する者、活動提案型は、希望者のやりたいこと、あるいは町としてやってほしいことを密に相談しながら、ある程度の確約をとった上で採用する者として</p> <p>いる。</p> <p>似たような活動に見えるが、誤解のないように、SNSツールなどを通じて、隊員の情報発信を強化していきたいと思う。</p> <p>②役割が似ている部分の連携については、協力隊同士が、移住時点で既にアットホームに迎え入れたり、人間関係ができていますので、先輩の隊員が助言しながら連携できている。</p>
委員	13番 中村	①町が音頭をとって、連携のためのミーティングなりをやるということはあるか。
総合政策課長	松本	①過去には月1ミーティングなどをやっていたが、現在は人数が増えてきたので開催していない。ただし、活動が似てる協力隊員を集めて相談をすることはある。
委員長	8番 田村	53ページ款2項1 企画費
		事前質問答弁表 質疑No.14
		地域おこし協力隊推進事業（地域再生） 462,000円
		・再質問なし。
委員	13番 中村	53ページ款2項1 企画費
委員長	8番 田村	事前質問答弁表 質疑No.15
		地域おこし協力隊推進事業（フリーミッション） 5,887,200円
委員	13番 中村	①フリーミッション型と提案型の違いについて説明願いたい。
総合政策課長	松本	①フリーミッション型は、民間の就業や企業を想定して自由度の高い活動をしていただくということになっており、全国の協力隊の任期満了後の行き先としても民間就業と起業される方が割合として多いことから、力を入れているところ。
		活動提案型は、行政の中というよりは地域の現場の中で必要な人材に活躍していただきたいということで、事前に本人の履歴書などを確認しながら、こちらがやってほしいことと、本人のやりたいことやできることを確認しながら、一定の活動内容をあらかじめ面談中に確定していくもの。
委員長	8番 田村	10:57 休憩
委員長	8番 田村	11:07 再開
委員長	8番 田村	53ページ款2項1 企画費
		事前質問答弁表 質疑No.16
		地域おこし協力隊推進事業（移住定住促進） 1,552,825円
		・再質問なし。
委員	13番 中村	54ページ款2項1 企画費
委員長	8番 田村	事前質問答弁表 質疑No.17
		シティプロモーション・ブランディング推進事業 59,982,000円
委員	12番 松原	・再質問なし。

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

委員長	8番	田村	54ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.18 シティプロモーション・ブランディング推進事業 59,982,000円 ・再質問なし。
委員	13番	中村	
委員長	8番	田村	54ページ款2項1 企画費 事前質問答弁表 質疑No.19 移住定住促進事業 1,866,943円
委員	13番	中村	①事前答弁に「空き家バンクの運用について業務委託を行うことができ」とあり、全国空き家バンクに別海町の空き家(空き室)が登録され公開されることになった。前進だと思いが、件数は1件で、実際にはもっと数多くの空き家がある。1件にとどまっている原因は何か。 ②全国空き家バンクに登録されているのは別海町西春別駅前寿町のアパート貸室1件だが、一方、町の「移住チャンネル」の空き家バンク物件紹介では、西春別駅前曙町の一戸建て空き家の売り物件1件が紹介されている。各サイトで別々の情報が掲載されている。互いの連携が図られていないのではないか。
総合政策課長		松本	①町内を見渡せば、もっと物件があるのではないかという問題意識は我々担当者としても考えているところで、今後対策を講じたいと考えている。 ②現在町内の委託業者に、北海道空き家バンクへの物件登録を委託しているところだが、この北海道空き家バンクに登録すると全国空き家バンクに自動的に連携して登録される。 空き家バンクには今はアパートの情報が載っているが、最近まで一軒家の情報も載っていた。 現在は、一軒家に関する問合せがあったことから、空き家バンクから情報を落としており、その後、成約があったとの情報を受けて、現在は移住チャンネルも同物件の情報を非公開としている。 ずれが生じる理由は、空家バンクは委託業者でリズミカルに手続きができるが、移住チャンネルは、ユーチューブの編集などに時間かかるためアパートは対象とせず、一軒家を対象に情報公開しているというのが実情で、そのずれとなっているので御理解いただきたい。
委員長	8番	田村	62ページ款2項1 交通対策費 事前質問答弁表 質疑No.20 通院等乗合ハイヤー事業 531,380円
委員	13番	中村	①運行日数、運行回数、利用者延べ数についてはわかったが、地域別内訳はどうなっているか。 ②事業目的「本町の公共交通空白地区全体において、通院や買い物等の移動に支援を受けられない方の交通を確保する」(令和3年度決算審査での町の答弁)に照らして、令和5年度の事業がどうだったかという検証は行われているか。 ③令和4年度決算審査で課題と改善点に関し「混乗することによる発着時間について、待ち時間に関する意見があることから事業者と協議を行い可能な限り時間調整に努める」との答弁があった。令和5年度にどのような協議が行われ、どのように改善されたか。
防災・基地対策課長		岩口	①地域別の内訳について、走古丹地区は運行日数が25日間、運行回数が50回、利用者数が160名。

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

	<p>美原地区は運行日数が2日間、運行回数が4回、利用者数が4名。 上風連地区は運行日数が6日間、運行回数が12回、利用者数が12名。 ②これまでも、移動でお困りの方へ周知するため広報や民生児童福祉委員会議において、制度説明を行っている。 また、登録者には毎年聞き取り調査を実施し、直接利用者の声を聞くことで事業の検証をしている。 ③令和5年度の登録者への聞き取り調査をした中では、ありがたいとの意見をいただいております。特に課題となる意見はなかったことから、事業者との協議は行っていません。</p>
委員 13番 中村	<p>①実施されている地域は3地域だが、これで本町の公共交通空白地帯全体を網羅してるという考え方なのか。ほかの地域でも困ってる状況があるのではないかと考えているか。 ②令和4年度の課題として、混乗することによる待ち時間に関し改善すべき点があるとされており、事業者と協議し調整に努めると回答していたことについて確認したい。</p>
防災・基地対策課長 岩口	<p>①当事業の対象地域については町内全域としているが、現在登録されている方の地区が4地区となっていることから、それ以外の地区の方の利用も促進したいと考えており、広報や会議での周知等を行っているところ。 ②令和4年度の問題点については、令和4年度中に事業者と協議を行い時間の調整などを行っており、その結果、令和5年度の聞き取りでは、問題がないという回答をいただいている。</p>
委員長 8番 田村	65ページ款2項1 環境対策費
	事前質問答弁表 質疑No.21
委員 13番 中村	<p style="text-align: center;">環境保全事業経費 節) 委託料 細節) 調査委託料 3,187,000円</p> <p>①調査報告が町に届くのは毎年2月だったと承知しているが、令和5年度については調査報告が町に届いたのはいつか。 ②例年のように2月だとしたら、10月の公表は8か月後ということになる。8か月の間を置く理由は何か。</p>
生活環境課長 上田	<p>①調査報告書が町に届いた日は令和6年2月9日となっている。 ②8か月の間を置く理由は特になく、例年10月頃の公表としていたもの。 今後は、春先の3月から4月頃の早い段階で公表できるように事務を進めたい。</p>
委員長 8番 田村	70ページ款2項1 諸費
	事前質問答弁表 質疑No.22
委員 16番 西原	<p style="text-align: center;">別海高等学校教育支援事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 派遣費補助金 6,237,000円</p> <p>・再質問なし。</p>
委員長 8番 田村	70ページ款2項1 諸費
	事前質問答弁表 質疑No.23
委員 13番 中村	<p style="text-align: center;">別海高等学校教育支援事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 別海高等学校生徒寄宿施設等利用費助成金 9,060,000円</p> <p>①事前答弁に「女性用としてきた3階部分を区分けすることで男性を入居可能とする」とあるが、生徒や保護者、学校側の意見を聞いているか。また、どのような意見が出ているか。</p>
学務・スポーツ課長 齋藤	<p>①寄宿施設の3階に男子生徒が入居可能とするための防犯対策として、男子生徒の部屋と女子生徒の部屋の間廊下にパーテーションを設置して、パーテーションより</p>

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p>女子側には男子生徒は立入りを禁止することとしていること、各階に設置している監視カメラにより、出入りを確認できること、また、ホテルと同じように各室ごとに施錠を行えることなどの対策を行うことを、令和5年度に入居していた女子生徒本人と保護者に説明し、了承を得ている。</p> <p>また、高校、PTA会長等にも説明し、了承を得ている。</p> <p>女子生徒や保護者等からは特にネガティブな意見はいただいているが、今後においても、女子生徒が新たに入居希望となった場合には、寄宿施設側、高校側とも連携して、生徒、保護者にも丁寧に説明していきたい。</p>
委員	13番 中村	①ある程度状況によって柔軟に対応していくと理解したが、例えばパーテーションを移動することもあるし、取ってしまうこともあるといった考え方でいいか。
学務・スポーツ課長	齋藤	①その年の入居状況によってパーテーションの移動や取り外すといった対応をしていきたいと考えている。
委員長	8番 田村	71ページ款2項1 諸費 事前質問答弁表 質疑No.24 別海高等学校教育支援事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 別海高等学校生徒寄宿施設等設置者助成金 4,620,000円 ・再質問なし。
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	71ページ款2項1 諸費 事前質問答弁表 質疑No.25 奨学資金等経費 節) 負担金補助及び交付金 施設) 奨学資金 20,400,000円 ・再質問なし。
委員	16番 西原	
委員長	8番 田村	議会費及び総務費全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	11:25 暫時休憩
委員長	8番 田村	11:28 再開
委員長	8番 田村	民生費及び衛生費の審査
委員長	8番 田村	80ページ款3項1 社会福祉総務費 事前質問答弁表 質疑No.26 高齢者等バス・ハイヤー共通利用券交付事業 節) 扶助金 細節) 交通費扶助金 8,143,600円 ・再質問なし。
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	83ページ款3項1 老人福祉費 事前質問答弁表 質疑No.27 介護職員確保対策事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 介護職員初任者研修開催経費負担金 825,000円 ・再質問なし。
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	83ページ款3項1 老人福祉費 事前質問答弁表 質疑No.28 介護職員確保対策事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 介護職員確保支援補助金 1,100,266円 ・再質問なし。
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	84ページ款3項1 老人福祉費

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p>事前質問答弁表 質疑No.29</p> <p style="color: blue;">介護職員確保対策事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 奨学資金 720,000円</p> <p>・再質問なし。</p>
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	108ページ款4項1 健康管理費
		事前質問答弁表 質疑No.30
		健康推進事業経費 節) 委託料 細節) 検診委託料 12,945,399円
委員	13番 中村	<p>①受診率が低下している理由を事前答弁では「新型コロナウイルス感染症の影響」を挙げているが、感染症の影響が大きかった令和3年度と比べて、胃がん検診で3.9%、肺がん検診で2.3%、大腸がん検診で1.5%の低下となっている。それでも「感染症の影響」と説明するのはなぜか。</p>
		<p>①新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度以前に集団検診を受診していた方が、現在は定期通院をしている医療機関で検査を受けており、集団検診を受診なくなっていると、多くの方から回答をいただいている。</p> <p>また、いまだに集団検診に対する不安感を持っている方も多く、新規受診者がなかなか増加していない状況。</p> <p>さらに、これまで積極的に検査を受けられていた受診者が、70歳になり報告対象から外れることによって受診数と受診率が若干低下している。</p>
保健生活部次長	千葉	
委員長	8番 田村	114ページ款4項2 じん芥処理費
		事前質問答弁表 質疑No.31
		根室北部廃棄物処理広域連合関係経費 節) 負担金補助及び交付金 細節) 根室北部廃棄物処理広域連合負担金 192,629,000円
委員	13番 中村	<p>①町の搬入量は年々減少しているものの、令和元年度から1年ごとの減少率を見ると4.2ポイント、1.4ポイント、0.9ポイント、0.7ポイントというように、前年度比の減少率が下がってきている。つまり、搬入量の減り方の幅が年々小さくなってきているということだが、これについての分析は行われたか。</p> <p>②搬入量をさらに減らす方策について検討はされたか。</p>
生活環境課長	上田	<p>①平成29年度に18分別に拡大したことにより、拡大当初は大きく減量となったが、その後は緩やかに減少傾向となっている。</p> <p>緩やかではあるが、分別知識の定着が進み、燃えるごみが減少しているものと考えている。</p> <p>②燃えるごみを減らす方策については、リサイクル率の向上と同様に、分別方法やリサイクルに関する知識などを、広報紙やホームページ、SNS等をとおして発信し、ごみ自体を減らすよう周知啓発を行っていきたい。</p>
委員	13番 中村	①リサイクル率の減少幅が下がってきていることに対する分析は。
生活環境課長	上田	<p>①分別拡大前には、燃えるごみの袋の中に、恐らく燃えないごみであったり、資源物になり得るものが入っていたと思われる。</p> <p>そこから、分別拡大によって、燃えるごみの中から、資源ごみや燃えないごみが大きく減った。</p> <p>その後町民の知識が増えるにつれ、まだ燃えるごみに混ざっているものに徐々に気付いていただきながら、ゆっくりと減っていると分析している。</p>
委員長	8番 田村	民生費及び衛生費全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

委員長	8番	田村	11:38 休憩
委員長	8番	田村	12:59 再開
委員長	8番	田村	労働費、農林水産業費及び商工費の審査
委員長	8番	田村	119ページ款6項1 農業総務費
			事前質問答弁表 質疑No.32 地域おこし協力隊推進事業（農協振興） 122,493円 ・再質問なし。
委員	13番	中村	
委員長	8番	田村	120ページ款6項1 農業総務費
			事前質問答弁表 質疑No.33 担い手プロジェクト事業 2,145,000円
委員	13番	中村	①令和5年度の研修牧場入所者数並びに新規就農者数をお聞かせ願いたい。 ②令和元年度比でフェア・イベント関連出展数3回減、面談者数110人減、酪農体験者数20人減となっている。前年(令和4年)度比でも、フェア・イベント関連出展数3回減、面談者数12人減、酪農体験者数10人減となっている。これについての分析と対策の検討は行われたか。
農政課長		皆川	①令和5年度の新規入所は1組、令和6年度現在の入所は、3年目が3組、1年目が1組の計4組となっている。 また、令和5年度の新規就農は7組となっており、令和6年度現在の新規就農2組となっている。 ②農業を志している方がフェアに参加することがかなり少なくなってきたり、フェア全体での参加者数がかなり少なくなってきたり。 面談の中でも酪農情勢は厳しいと認識されている方がおり、この認識がフェアでの面談者数や体験者の減少につながっているものと分析している。 これについては、北海道からのほかの出展者等とも同様の考え方を共有しているところ。 今後の対策としては、引き続き農業人フェアへの出展により、就農意欲のある方との面談を行うと同時に、酪農への関心が高い人材を募集できる就農支援サイトの活用を考えており、新規就農者の確保を行う予定としている。 学校訪問等については、担当教員の異動などで関係が途切れてしまうということがあるので、教諭の異動に注視し、関係構築を進め、体験者の人数を増やすことを期待しているところ。
委員	13番	中村	①令和5年度の研修牧場の入所者数は1組ということだが、人数は2人か。また、令和5年度の新規就農者数は7組ということだが、人数は14人か。 ②酪農情勢が厳しいことは現実としてあり、それが国民の中にも伝わって、なかなか酪農に踏み出せないという雰囲気があるということは分かるが、それを突破していくものと考えていかなければならないと思う。 今は、別海町の魅力を打ち出していこうというのが、役場全体の考え方になってると思うが、別海酪農の魅力を打ち出していくプラスアルファの考えはないか。
農政課長		皆川	①令和5年度の新規入所は1組2名、3年目が3組6名となっている。 また、令和5年度の新規就農は7組のうち6組12名、残り1件が法人で人数は今把握していない。 ②地域おこし協力隊を活用しながら、これまでも別海町の魅力について発信してきたところで、そのかきもあり、昨年度、新規就農フェアに来た方が来年度の入所に向け

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		て調整をしているので、これからも引き続き別海町の魅力、別海町で酪農をしたいと思われるような取組をしていきたい。
委員長	8番 田村	121ページ款6項1 農業振興費 事前質問答弁表 質疑No.34 中山間地域等直接支払い交付金事業 727,310,344円
委員	12番 松原	・再質問なし。
委員長	8番 田村	122ページ款6項1 農業振興費 事前質問答弁表 質疑No.35 経営継承・発展支援事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 経営継承・発展支援事業補助金 3,203,000円
委員	13番 中村	①当初17件1,700万円の予算を組んだが、国の採用が0となり、町分の50万円の支援で16件800万円の補正予算となった。最終的には8件の申請にとどまったという説明だが、令和4年度も同様の状況だった。どうしてこういうことになるのかの分析と対策の検討は行われたか。
農政課長	皆川	①国の事業に採択された場合は、対象事業費上限100万円が本人に補助される。単独事業の場合は、100万円ところが、50万円となってしまいますので、事業の自己負担が増えてしまい計画と費用の折り合いがつかず辞退されるということが大きな要因と考えている。 また、不採択者の中には町の補助を受けず、次年度に改めて国へ申請するという方がいることを確認している。 いずれにしても、国の申請に当たって、事業採択を受けるために必要なポイントを確保できるように、引き続き計画作成に係る支援は続けていきたい。
委員	13番 中村	①町独自の制度も含めて、使い勝手がいいものにしていくという考え方あるか。
農政課長	皆川	①本事業は、そもそもが国の制度による補助事業になっており、使い勝手としては、大変使いやすい事業とはなっているとは思いますが、国の予算が決められており、その範囲内で補助され、全国から応募があることもあって、なかなか採択に至らないのが現状。町としても、何かできないかということで50万円の補助をしているが、それも踏まえてこのような状況になっている。
委員長	8番 田村	122ページ款6項1 農業振興費 事前質問答弁表 質疑No.36 新規就農者育成総合対策事業 12,375,000円
委員	13番 中村	・再質問なし。
委員長	8番 田村	128ページ款6項2 広域農業推進費 事前質問答弁表 質疑No.37 農業水路等長寿命化事業 34,012,000円
委員	13番 中村	・再質問なし。
委員長	8番 田村	129ページ款6項2 広域農業推進費 事前質問答弁表 質疑No.38 国営土地改良施設維持管理事業 節) 工事請負費 細節) 改修等工事請負費 49,005,000円
委員	13番 中村	・再質問なし。
委員長	8番 田村	129ページ款6項2 広域農業推進費 事前質問答弁表 質疑No.39

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p style="color: blue;">国営土地改良施設維持管理事業 節) 負担金補助及び交付金 細節) 国営土地改良施設維持管理等交付金 3,484,200円</p>
委員	13番 中村	<p>①令和4年度の決算審査時に、交付金が大幅に下げられることによる農家の負担への影響について調査しているかという質問に、していないと回答があったが、令和5年度はどうだったのか。</p> <p>②令和4年度決算審査時に、太陽光発電の施設の効果を検証すべきではないかという質問に、検証しなければならないと考えていると回答があったが、令和5年度に検証は行われたのか。</p>
農政課長	皆川	<p>①調査している。</p> <p>各農家における肥培施設に係る費用と営農にかかる費用は分けられないことから推計試算となるが、1施設当たり年間190万円程度かかっていると見込まれる。</p> <p>交付額については、各農家に説明し納得していただいている。</p> <p>肥培施設については、これまでも説明しているところだが、自分で管理するという前提で使用してもらっているので、交付金が減ったからといって適切に管理しないということにならないため、適切に管理していただく必要がある。</p> <p>令和5年度に81戸の調査をしており、概ね良好に使用されている。</p> <p>②この交付金については、当初から肥培施設の管理に係る経費を全て見込んでいないということ、現状として交付金が1割程度しか交付できていないという状況にあるが、適切に管理する費用の一部に充てられているということ、また、配水路の仕上げにかかる費用に活用しており、当該施設の円滑な管理と機能の発揮については、一定の効果があつたものと考えている。</p>
委員	13番 中村	<p>①190万円かかっているという根拠は。</p> <p>②81戸の肥培施設の調査結果は開示されているのか。</p>
農政課長	皆川	<p>①各肥培施設の使用料と、発電機を回すエンジンに使用する軽油の量を計算して、大体190万円と試算している。</p> <p>②肥培施設を使っている農家に聞き取りを行い、何時間使っているかとどのような状況になっているかという調査を、一軒一軒やっている。</p> <p>調査結果は今のところ公表はしていないが、機会を見て公表していきたい。</p>
委員長	8番 田村	<p>129ページ款6項2 広域農業推進費 事前質問答弁表 質疑No.40</p>
		<p style="color: blue;">国営土地改良施設維持管理事業 節) 積立金 細節) 国営土地改良施設整備基金積立金 178,415円</p>
委員	13番 中村	<p>①事前答弁では「パワーコンディショナー更新のために333,000千円、施設撤去のために33,000千円、累計で366,000千円を積み立てる」とあるが、パワーコンディショナー更新の時期はいつか。</p> <p>②令和5年度段階での基金残高は約580万円という説明だが、パワーコンディショナー更新までに3億3千万円の基金積立てをするとの考えなのか、それとも別の方法で資金を調達するという考えなのか。</p>
農政課長	皆川	<p>①令和8年度から令和19年度までの間の12年間で随時更新することとしている。</p> <p>②令和8年度からのパワーコンディショナーの随時更新に伴い、年平均約2,800万円程度の費用を見込んでいる。</p> <p>今後15年間の売電収入については、総額7億円を想定しており、年平均4,400万円となる。</p>

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

	<p>毎年度積立てをしつつ、更新に伴い単年度の売電収入に不足が見込まれる場合については、一部積み立てた基金を取崩しながらの更新を考えている。</p> <p>単年度の売電収入及び基金の運用について、費用に見合った積立てができるように計画していることから別の方法での資金調達は予定していない。</p>
委員 13番 中村	<p>①令和8年度分の更新費用の確保はできるのか。</p> <p>②売電収入があるから大丈夫だということだが、交付金の関係でいうと、積立していけば交付金が下がる。それから維持費もかかる。令和5年度の段階では積立額が580万円ぐらいであり、本当に大丈夫かという気がするが。</p>
農政課長 皆川	<p>①令和8年度までに積み立てる額が約2億円程度となる見込みで、パワーコンディショナーの更新に充てる費用としては問題ない。</p> <p>②今後大きな工事が無い状況であることから、積立てを大きく取り崩すことがなく、パワーコンディショナー用に積み立てる費用については、太陽光の発電収入の中で見込めると考えている。</p>
委員長 8番 田村	<p>131ページ款6項3 林業振興費 事前質問答弁表 質疑No.41</p>
委員 13番 中村	<p>実のなる木植栽事業 1,573,597円</p> <p>①実のなる木植栽事業の当初の目的は、「町民が木と触れ合い、木と親しみ、季節の移ろいと樹木の生長の楽しみや収穫する自然の恵みを体験することで、実のなる木への興味や関心を深めるとともに、子どもたちへの学習機会を提供する」ということだったが、令和5年度の事業内容は小中学校の卒業記念植樹となっており、当初の目的から大きく外れたものになっている。</p> <p>令和4年度決算審査において「概ね全町において、実のなる木を植樹する箇所については植樹が完了した」という説明があったが、令和5年度もそうした理由によって事業がすすめられたのか。</p> <p>②本事業によって実のなる木を植樹したのは、鉄道記念公園、憩いの森公園、小野沼公園の3か所と記憶しているが、実のなる木を植える所は町内にはもうないと判断したのか。そう判断したとすると、その根拠は何か。</p>
産業振興部次長 小野	<p>①基本的に令和5年度も同様の理由で事業を実施している。</p> <p>確かに当初の目的からすると、御指摘のとおりだが、現在実施している卒業記念植樹については、町内の小中学生が自ら植樹を行い、その後に行われる木育教室を通じて、木への興味、関心を深めるなど、子供たちへの学習機会を提供するという点から考えると、目的の根底にある森林や環境保全に対する普及啓発につながるものと考えている。</p> <p>なお、卒業記念植樹については、植える樹種の選定を学校、あるいは生徒自らに決めてもらうところから始まることから、桜の木が中心となっているが、令和5年度については、収穫可能なベリーの木も植えられた。令和6年度についても、スモモの木も、2校で植えていることから、当初の目的から大きく外れるまではいかないと考えている。</p> <p>②3公園のほかに、中西別公園を加えた4か所で実施している。</p> <p>本事業は平成29年度から、植栽可能な空きスペースがある町立公園を対象に実施しており、令和3年度の中西別公園での植樹をもって、町立公園での植栽可能な空きスペースを使い切ったと判断したところ。</p> <p>ただし、町立公園以外の場所での実施も今後考えられるので、そういった際は柔軟に対応していきたい。</p>

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

委員	13番	中村	<p>①子供の希望によって実のなる木を植える例もあるとのことだが、町の考え方としても、以前実のなる木というのは非常にいい取組だと答弁している。</p> <p>やはり実のなる木と言っているのであれば、事業にふさわしいような取組を工夫していくことが必要ではないかと思うがいかがか。</p>
産業振興部長	佐々木		<p>①大変すばらしい事業であると考えているので、所管としては、次年度以降も、卒業記念植樹をやっていく中で、例えば実のなる木と一緒に植えるといった取組をやっていきたいと考えている。</p>
委員長	8番	田村	<p>131ページ款6項3 林業振興費 事前質問答弁表 質疑No.42 環境保全緑化事業 27,146,112円</p>
委員	13番	中村	<p>・再質問なし。</p>
委員長	8番	田村	<p>131ページ款6項3 林業振興費 事前質問答弁表 質疑No.43 河畔林整備事業 7,783,698円</p>
委員	13番	中村	<p>・再質問なし。</p>
委員長	8番	田村	<p>132ページ款6項3 林業振興費 事前質問答弁表 質疑No.44 豊かな森づくり推進事業 18,920,517円</p>
委員	13番	中村	<p>・再質問なし。</p>
委員長	8番	田村	<p>132ページ款6項3 公有林整備事業費 事前質問答弁表 質疑No.45 町有林環境保全整備事業 76,687,234円</p>
委員	13番	中村	<p>・再質問なし。</p>
委員長	8番	田村	<p>129～132ページ款6項3 項全般 事前質問答弁表 質疑No.46 事業全体 173,134,451円</p>
委員	13番	中村	<p>①全町の森林面積、森林率ともに前年(令和4年)度とほぼ変わらない数値だが、細かく見ていくと、町有林が52ha減り、私有林が21ha増えている。増減の理由について説明願いたい。</p>
産業振興部次長	小野		<p>①森林面積については、北海道で公表している北海道林業統計から引用している。</p> <p>町有林の面積については、今回の北海道における林業統計入力時に、本来0.52ヘクタールと入力しなければならないところ、入力ミスで52ヘクタールと入力してしまい、そのまま発表された。既に訂正しているので御了承いただきたい。</p> <p>また、私有林の21ヘクタールの増加については、新たに新規造林を実際に行ったことによる。</p>
委員	13番	中村	<p>①この結果を見て、別海町の全体の森林面積を増やす一つのかぎが私有林に対する支援にあるのではないかと思うが、私有林に対する考え方をお聞かせ願いたい。</p>
産業振興部次長	小野		<p>①私有林については様々な面があるが、間伐あるいは新たに造林できるところを探していくことが森林率の増加にもつながると考えている。</p> <p>国や道も、今後積極的に方針を打ち出していく部分だと思うので、町もしっかり同調しながら、なるべく私有林の面積を増やし、また、私有林の所有者の方々の負担にならないような方策を考えていきたい。</p>
委員長	8番	田村	<p>140ページ款7項1 観光費</p>

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

	事前質問答弁表 質疑No.47 地域おこし協力隊推進事業（観光交流） 448,940円
委員 13番 中村	・再質問なし。
委員長 8番 田村	141ページ款7項1 観光費
	事前質問答弁表 質疑No.48 ふるさと会経費（節）旅費（節）普通旅費 577,760円
委員 10番 外山	・再質問なし。
委員長 8番 田村	145ページ款7項1 ふるさと交流館費
	事前質問答弁表 質疑No.49 ふるさと交流館管理経費（節）委託料（節）施設設備保守・点検委託料 3,562,636円
委員 10番 外山	・再質問なし。
委員長 8番 田村	労働費、農林水産業費及び商工費全体で質疑あるか。
委員 一同	なし。
委員長 8番 田村	13:42 休憩
委員長 8番 田村	13:46 再開
委員長 8番 田村	土木費及び消防費の審査
委員長 8番 田村	153ページ款8項4 住宅管理費
	事前質問答弁表 質疑No.50 既存住宅耐震改修推進事業 66,000円
委員 13番 中村	①令和5年度の事業実績は耐震診断が1件ということなので、年度末耐震化率は前年度比と変わらないと思うが、どうか。
	②当初計画では、耐震診断2件、耐震補強設計2件、耐震改修工事1件、建替え工事1件だったが、実際は耐震診断1件にとどまった。事前答弁では「自己資金が必要なので（耐震化が）進まない」と述べているが、それにどう対応したらいいのか検討したか。
	③さらなる周知を図るとしているが、令和4年度決算審査においても同じ事を言っている。周知の抜本的改善について検討したか。
建築住宅課主幹 篠田	①令和5年中においては、耐震改修工事は実施されておらず、除却と新築のみが耐震化率上昇の要因となるが、毎年10月1日時点で耐震化率を推計しているため、令和5年10月現在の数値で回答すると、耐震化率は80.8%となる。
	②耐震改修工事が進まない大きな要因の一つとして、自己資金等の費用負担が想定される。 現在、本町の耐震に関わる補助金制度は、北海道と連携し協調補助という形で金額も足並みをそろえているところだが、北海道でも耐震化が進まないことについては苦慮しているところであり、新たな補助制度の仕組みを現在検討しているとのこと。本町ではその動向に注視していたところ。 また、耐震化が必要か否かについては、耐震診断を行わなくては判断できないため、まずは耐震診断を行うことが重要と考えている。
	③これまで周知の方法として、町のホームページ及び広報誌を活用してきたが、令和5年度には耐震セミナーを開催し、住宅の所有者のみならず、建築工務店及び設計事務所までを対象とし、周知の範囲を広げ、制度の周知に努めてきたところ。 また、今年度は空き家の相談会に合わせて、耐震に関する相談も受けたいと考え

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		ている。
委員	13番 中村	今後については、耐震補助制度の周知に加え、耐震診断や耐震化の必要性について、SNS等を活用しながら、広く周知に努めていく。
建築住宅課主幹	篠田	①入り口として耐震診断をしていただくということが大変大事だという答弁で、そのとおりだと思うが、だとすれば、もっと力を入れた呼びかけが必要になるかと思うが。
委員長	8番 田村	①耐震診断が必要だと思われる方については、全戸ダイレクトメール等も含めて配慮して進めていきたいと思っている。
		153ページ款8項4 住宅管理費 事前質問答弁表 質疑No.51 既存住宅耐震改修推進事業 66,000円
委員	13番 中村	①成果物としての別海町空家等対策計画が開示されている。その計画書の中にある数字として、平成30年の空家数が710戸、令和4年度の空家数が194件となっている。数字の開きが大きすぎるように思うが、説明願いたい。
建築住宅課主幹	篠田	①平成30年の710戸については、総務省の土地統計調査による推計の値であり、実数値ではなく、また別海町内全体を対象とした数字になる。 194件については、令和4年度に実施した別海町内空き家実態調査から抽出された実数値となる。 また、別海町空家等対策計画に定めた対象地域となる別海町内の市街地内に限定された数字であることから、違いが発生している。
委員	13番 中村	①令和4年度の空き家数が194件だということについては、全町の空き家数と見ていいのか。
建築住宅課主幹	篠田	①194件については、別海町内の市街地区域となり、別海、西春別駅前、西春別、尾岱沼、中春別、上春別、中西別、上風連、床丹、本別海、走古丹の各市街地の空き家数になる。
委員長	8番 田村	土木費及び消防費全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	13:57 暫時休憩
委員長	8番 田村	13:59 再開
委員長	8番 田村	教育費の審査
委員長	8番 田村	178ページ款10項5 社会教育総務費 事前質問答弁表 質疑No.52 地域おこし協力隊推進事業（文化振興） 494,252円 ・再質問なし。
委員	13番 中村	
委員長	8番 田村	181ページ款10項5 社会教育総務費 事前質問答弁表 質疑No.53 旧光進小中学校校舎等利活用事業経費（節）役務費（細節）通信運搬費 149,058円 ・再質問なし。
委員	10番 外山	
委員長	8番 田村	184ページ款10項5 青少年教育費 事前質問答弁表 質疑No.54 文化団体等派遣費補助事業（節）負担金補助及び交付金（細節）派遣費補助金 1,228,000円 ・再質問なし。
委員	16番 西原	

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

委員長	8番	田村	185ページ款10項5 中央公民館費 事前質問答弁表 質疑No.55 中央公民館解体撤去事業(節) 委託料(細節) 廃棄物処理委託料 1,897,280円
委員	10番	外山	・再質問なし。
委員長	8番	田村	189ページ款10項5 図書館費 事前質問答弁表 質疑No.56 図書館図書等購入事業(節) 備品購入費(細節) 図書費 7,129,990円
委員	10番	外山	・再質問なし。
委員長	8番	田村	191ページ款10項5 郷土資料館費 事前質問答弁表 質疑No.57 アイヌ施策推進事業(節) 需用費(細節) 印刷製本費 943,800円
委員	10番	外山	・再質問なし。
委員	13番	中村	・外山委員の質問に対する事前答弁を見ていて気になった点が2点ある。 ①制作に当たって、アイヌ協会などアイヌの方の意見を聞きながら進めた経緯はあるか。ない場合、その理由は。 ②作品全体がアイヌ自身の視点から見てどうかという検証は行われているか。または行う予定はあるか。ない場合、その理由は。
郷土資料館長		堺	①大部分を加賀家文書館の資料、または同時代の資料である松浦武四郎の記録などに基づいて制作しており、アイヌの方の意見については、160年から200年前のことを記憶または伝承している方がいないのではないかとということで、聞き取りは特に行っていない。 ②検証についても、今のところ予定はない。
委員	13番	中村	①昨今、アイヌ民族に対する基本的な人権を守っていくという認識が広まり、進んでいると思うが、その考えからアイヌの視点から見てどうなるかという点を検証することは、私の感覚では常識かと思うので、そうしなかったこと、今後そうするつもりはないということについての説明を。
郷土資料館長		堺	①別海町にもアイヌ協会はあるが、こういった文化の伝承はされてないということなので、御理解いただきたい。
委員長	8番	田村	193ページ款10項5 生涯学習センター費 事前質問答弁表 質疑No.58 地域おこし協力隊推進事業(生涯学習) 161,394円
委員	13番	中村	・再質問なし。
委員長	8番	田村	196ページ款10項6 保健体育総務費 事前質問答弁表 質疑No.59 スポーツ団体等派遣費補助事業(節) 負担金補助及び交付金(細節) 派遣費補助金 4,726,000円
委員	16番	西原	・再質問なし。
委員長	8番	田村	200ページ款10項6 学校給食費 事前質問答弁表 質疑No.60 給食センター運営経費(節) 需用費(細節) 賄材料費 108,689,936円
委員	13番	中村	①食材の町内産、道内産の割合を見ると、令和元年度比で、町内産は17.0%から15.2%へ1.8ポイント、道内産は47.8%から44.4%へ3.9ポイント減少し、一方

第4回予算決算審査特別委員会(1日目) 要点記録

		<p>外国産は10.0%から13.7%へ3.7ポイント増加している。また、食材調達先の町内業者については31.7%から26.9%へ4.8ポイント減少となっている。</p> <p>関係者の努力によって、安全でおいしい給食と評価される別海町の給食だが、安全性、地産地消の精神が次第に薄れていっているのではないかと。少なくとも数字はそういう傾向を示しているように思うが、その点の分析や対策の検討はしたか。</p>
学校給食センター長	池田	<p>①基本的に、町内産、道内産、国産という優先順位を付け、毎月見積りを取り購入している。</p> <p>毎年、国内産の鶏肉を購入しているところだが、令和4年度の鳥インフルエンザの流行により、令和5年度に限っては外国産の鶏肉を使用した。</p> <p>本日の新聞でも鳥インフルエンザが道内で確認されたと掲載があったが、道内産は数年購入できないかと考えている。</p> <p>また、金額ベースでは、国産全体の割合が低下し、外国産が増加しているが、数年前と比較し、国内産より外国産の物価高騰幅が大きかったことによると分析している。</p> <p>町内産を使用したメニューは、昨年よりは少ないが、令和元年度と以降、年々多く取り入れるようにしている。</p> <p>今年度も、昨年度よりも数回多く給食のメニューを取り入れている。</p>
委員長	8番 田村	教育費全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	14:13 暫時休憩
委員長	8番 田村	14:15 再開
委員長	8番 田村	災害復旧費、公債費、給与費、予備費及び財産に関する調書の審査
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	災害復旧費、公債費、給与費、予備費及び財産に関する調書全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度一般会計決算審査終了
委員長	8番 田村	散会挨拶
委員長	8番 田村	散会 14:18